

No.91

# 議会だより

## にしあいづ

2005.11.14

発行：福島県西会津町議会  
編集：議会広報発行対策特別委員会  
〒969-4495  
福島県耶麻郡西会津町野沢  
字下小屋上乙3261  
TEL 0241-45-4537

● 常任委員会所管事務調査報告 ● さわやかハッピー

**一般会計決算59億308万円**  
**指定管理者制度に向け条例制定**

まちの考えを問う

6  
人



いつまでも現役 長谷沼和吉さん（97歳）新郷小清水

# を認定

前年比1.6%減  
黒字1億5,234万円

9月議会定例会は、9月13日から21日までの9日間の会期で開かれました。定例会初日には、山口町長が「町民と行政が一体となった協働による町づくり」を進め豊かな西会津町にしたいと6期目を迎えた町政運営の所信を表明。16年度の各種決算認定、条例改正、17年度補正予算など45議案、人事案1件、報告2件を審議し、提出された議案等すべてを原案のとおり可決、認定、同意しました。一般質問では6名が町政をただしました。

## おもな質疑

17年度一般会計決算は、国・県補助金が縮減された中、財源不足を補うため、基金を取り崩し、59億308万円、前年比1.6%減で、1億5234万円の黒字決算となりました。町債残高（一般・特別会計）は129億6861万9千円（1人当り約150万円）となりました。（交付税算入率 一般54・9%、特会52・5%）

問 実質単年度収支が赤字となったのは。

総務税政課長

地方交付税、臨時財政対策債の減少により歳入減となるため、財政調整基金を大幅に取り崩したためです。

問 交付税・臨時財政対策債削減の対策は。

総務税政課長

人件費削減、事務事業の見直し、事業の選択で対応しました。

問 収入未済額の増加

傾向をどう捉えているか。

総務税政課長

長引く景気低迷により所得の大幅減少によるものと考えます。

問 財政の弾力性と經常収支比率は。

監査委員

3.8%上昇し、弾力性が少なくなっています。対策としては経費の見直しと削減、効率的な施策等行財政改革等を強化すべきです。

問 基金の効率的運用

収入役 16年度は10回ほど各会計に一部運用しました。

問 住宅使用料の収入未済の状況は。また5年で時効となるのか。

地域整備課長

8人分で336万円です。収入減などにより未納額が増加傾向にあります。5年経過の時効は死亡、行方不明等民法に基づいて行っています。対策としては生活相談など計画的納入相談に努めます。

問 インターネット運営収支は。

町民情報課長

ランニングコストはほぼペイしています。

問 源泉湯湯ポンプの維持メンテナンスは。

経済振興課長

ポンプは平成5年、7年購入し、毎年補修交換、期間は、ポンプ月1回、貯湯槽は年2回メンテナンスしています。

問 ロータスイン厨房改修費は振興公社の独自



議会中

# 一般会計 決算

# 59億308万円

事業であり、町負担に問題はないのか。

## 経済振興課長

施設本体工事に関わるものの基本的な部分は町が実施します。

問 国際芸術村事業の委託先と目的は。

## 教育課長

NPO西会津国際芸術村に委託し、芸術家の選考関係費や事務所運営費等事業推進のための経費です。

問 敬老会招待者の年齢引き上げは。

## 健康福祉課長

庁内で検討中です。

問 小坂橋入札に問題はなかったのか。

## 助役

無償で補修した件は県に相談した結果であり問題はありませぬ。また工事指名は公正な指名と適正な入札を執行したと考えています。

問 小中学校交流補助金の対象と人数は。

## 教育長

いわき市と小学校5年生の交流で引率を含め80人、沖縄県大宜味村と小中学生交流で引率を含め30人、いずれも町内児童生徒の経費と冬の来町時のホームステイ家庭への謝礼分です。

# 討論

## 〔反対〕

町づくりに積極的な面は評価するが、町民一人一人の生活はよくなっていない。財政が厳しい中で不要不急な事業（国際芸術村）や負担の重いまいな事業（温泉厨房改修工事、補助効果がない事業（小中交流、海外派遣）は再考すべきである。

## 〔賛成〕

予算編成時の交付税削減等もあり、財政厳しい中、基金をやりくりし、予算を編成・執行し、かつ黒字を出したことを評価する。各事業は町民生活に必要なものであり、今後はより事業選択を重視すべきである。

## 主なる歳入決算額の状況

(単位：千円・%)

区分	平成15年度	平成16年度	増減
地方交付税	2,859,726	2,770,910	△3.1
町債	917,000	767,100	△16.3
町税	637,125	637,508	0.1
繰入金	284,785	511,902	79.8
国庫支出金	264,335	302,255	14.3
その他	1,133,022	1,065,754	△5.9
合計	6,095,993	6,055,429	△0.7

## 【厳しい財政運営】

- ・ 地方交付税、臨時財政対策債の大幅な減少。
- ・ 固定資産税及び町民税の個人分は減少、法人分は増加。
- ・ 繰入金として財政調整基金（323,461千円）や各種基金の取り崩しと、街路灯整備費（22,095千円）を財産区より繰り入れ。
- ・ 収入未済額（29,953,949円）の増加傾向と、不能欠損額の増加。

## 主なる歳出決算額の状況

(単位：千円・%)

区分	平成15年度	平成16年度	増減
総務費	1,236,094	1,175,501	△4.9
公債費	1,015,728	1,137,403	12.0
土木費	763,017	821,656	7.7
民生費	763,972	799,518	4.7
衛生費	495,889	508,738	2.6
その他	1,721,389	1,460,264	△15.2
合計	5,996,089	5,903,080	△1.6

## 【計画どおり実施】

- ・ 構成比で義務的経費（38.7%）  
投資的経費（17.3%）
- ・ 総務費…街路灯整備事業（2,100万円）  
I P 電話通信ネットワーク事業
- ・ 土木費…除雪費（142,359千円）  
町道整備事業（4路線）
- ・ 衛生費…在宅健康管理システム購入  
（25,988千円）  
各種検診事業（43,126千円）
- ・ 民生費…在宅介護支援センター・生活支援ハウス  
運営事業  
乳幼児医療費助成（8,212千円）

# 16年度 特別会計

特別会計11設置され、いずれも原案のとおり認定しました。

## 商業団地

### 特別会計

問 アーケード建築工事は道の駅や駐車場の妨げにならないのか。

経済振興課長

利用客の雨雪を防ぐ利便性のため整備し有効利用されています。

## 国民健康保険

### 特別会計

問 不能欠損は滞納5年でなるのか。

総務税政課長

理由は、生活困窮、行方不明、死亡等であっても納税できない人です。滞納は年々増加傾向で個々に納税相談を行い、不能欠損防止に努めます。

## 水道事業会計

問 今後の水道管補修は。

地域整備課長

30年程経過しているため年次計画を立て更新に努めたい。

## 下水道施設

### 特別会計

問 野沢処理区の加入率が低い理由は。

地域整備課長

後継者の問題や高齢化が進んでいるためです。利子補給制度の周知に努め、加入促進に努めます。

問 短期保険証、資格証明書の発行は。

健康福祉課長

短期保険証は1ヶ月29世帯、3ヶ月14世帯に発行、資格証明書は10世帯に発行しました。

平成16年度特別会計決算総括表

(単位：千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	主な内容	
工業団地造成事業	31	28	3		
商業団地造成事業	75,522	65,897	9,625	道の駅用地売却収入 アーケード整備事業	
住宅団地造成事業	15,889	14,659	1,230	1区画売却	
下水道施設事業	210,395	208,979	1,416	野沢処理区73戸増 加入率34.1%	
農業集落排水処理事業	246,221	244,444	1,777	笹川地区工事 野尻地区設計	
個別排水処理事業	59,891	59,285	606	設計工事(54基) 奥川地区	
老人保健	1,377,327	1,353,433	23,894	対象者150人減	
国民健康保険	事業勘定	940,580	912,547	28,033	保険給付費の増 国保財政計画により負担軽減
	診療施設勘定	422,757	408,172	14,585	
介護保険	782,405	767,897	14,508	介護給付費の増 サービス受給者の増	
介護老人保健施設	259,237	250,414	8,823		
簡易水道等事業	124,636	117,797	6,839		
計	4,514,891	4,403,552	111,339		
水道事業	収益的収入及び支出	164,054	155,244	8,810	給水人口16人の減 給水普及率76.64%
	資本的収入及び支出	210,675	275,223	△64,548	



# 17年度 補正予算

## 一般会計補正予算 (第4次)

歳入歳出1億6131万2千円を増額し、総額は56億2124万2千円となりました。歳入の主なものは地方交付税確定による1264万6千円の増、繰越金8502万1千円などです。

歳出の主なものは、財政調整基金積立金追加、温泉湯湯ポンプ、耶麻地方町村会負担金追加、町小中学校各種大会出場謝礼金追加など。

## おもな質疑

**問** 年度によって温泉湯湯ポンプ交換に差があるのはなぜか。また今回の温泉の休業による損失は。

### 経済振興課長

2年に一度ポンプ交換と合わせケーブルも交換しているためです。今回12日間の休業のため、利用料や営業部門で約300万円の損失です。

**問** 耶麻地方町村会負担金追加とは。

### 総務課課長

職員の退職手当にかかる特別負担金で人口割、均等割で算出しました。

**問** ふるさと振興費、修繕費の内容は。

### 経済振興課長

①ロータスイン地下配管破損修理。②研修室畳表替。③屋外ボイラー真空ポンプ交換など。

### 介護老人保健施設 特会補正(第1次)

歳入歳出210万3千円の減になった理由は、理学

療法士2名の退職による。対応として週25人竹田病院から派遣されます。

### 介護保険特会補正 (第1次)

歳入歳出それぞれ1513万9千円増額の理由は、10月1日から介護保険法の一部改正により、食事代、居住費が自己負担となったため。支援サービス等の経費が減額となり、そのかわり特定入所者介護サービス等諸費が1278万7千円増額されます。

### 住宅団地特会補正 (第1次)

歳入歳出で1368万8千円増額、町が2区画を購入者の都合により買い受けることになったため。

## 条例改正

# 指定管理者制度導入へ



交流物産館よりっせ

地方自治法の一部改正が平成15年9月2日から施行され、「公の施設の管理運営」に「指定管理者制度」が導入されました。

「公の施設」の管理運営については、これまで公共団体、公共的団体、公共団体の出資法人いわゆる第3セクターへの管理委託に限定されていましたが、改正により個人を除く営利企業やNPO法人や地域団体を含む民間事業者に任せることが

可能となりました。今回のための条例の制定、設置条例の改正が行われました。

### 【指定管理者制度導入施設の主なもの】

- ・ 交流物産館よりっせ
- ・ 温泉健康保養センター
- ・ 雪室貯蔵施設
- ・ さゆり公園
- ・ 林業研修センター
- ・ 野沢保育所
- ・ へき地保育所
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 温泉リハビリプール
- ・ 老人憩の家など

# 常任委員会所管事務調査

6月から9月にかけて各常任委員会では所管事務に関する調査を行い、町内の現状や近隣町村の動向を視察しました。

総務文教

経済建設

福祉厚生

「各分野自立した改善を」

総務文教

## ■温泉健康保養センター

開設から約12年が経っている。施設の各箇所メンテナンスが必要と見受けられた。これらにかかる諸経費について早期に検討し、財政的措置を講ずることが必要である。また、経営の累計的な赤字に対しては、抜本的改善が望まれる。

## ■旧学校施設と芸術創作活動について

旧学校施設が利用できることは行政財産の有効な活用方法でもある。本町の旧新郷中学校芸術村事業は外国から芸術家を招へいして行われている。熱塩加納村の旧黒岩分校は芸術家が地区に居住して創作活動を行い、むしろ地域に対してボランティアで芸術家が過疎の高

齢者を支援している。

今後の招へいについては地域に密着した自立のできる芸術家をも含めて

検討されるべきと思われる。また芸大などと連携した新たな芸術村構想も必要と思われる。



旧黒岩分校

# 耐雪型パイプハウスの導入者決定を早期に

## 経済建設

### ■耐雪型パイプハウス

16年度に設置された耐雪型パイプハウスについて現地調査をした。奥川真ヶ沢地内4棟、下谷牛尾地内3棟、両氏とも本町の先導的農家でありパイプハウスの導入により生産拡大に意欲的な姿勢が伺えた。今後冬期間の栽培に向けて仲間づくりとともに作物選定等を検討しながら、農家所得向上に向けて鋭意取り組んでいくとのことであった。

17年度のパイプハウス導入については、早期に導入者を決定し、グループや営農組織の育成なども視野に入れながら農業振興の柱となるよう取り組むべきである。

### ■「よりっせ」運営状況

交流物産館「よりっせ」



トマト栽培視察

は開業1年を迎え、来客数・売上については予想を上回り良好である。今後はミネラル野菜販売量の確保と商業団地の有効活用と合わせて、施

設の適正管理と誘客・販売に努め、さらに農林業・商工業振興という目的達成に向けより一層の活用を望むものである。

# 情報通信の更なる高度利用を 福祉厚生

### ■館岩村情報通信

#### ネットワーク

南会津郡館岩村の情報通信ネットワーク事業について調査を行った。

情報通信ネットワーク整備事業（村単独事業）いわゆるケーブルテレビ事業への取り組みは、テレビの難視聴対策が主目的となっている。さら



館岩村での調査

に情報発信手段であるインターネットについては、南会津西部地区の5町村共同でプロバイダー事業を開業したが、南郷村に民間業者が進出したため、この5町村共同プロバイダー事業も廃止となり、ケーブルテレビとあわせ、館岩村独自で整備することとなった。

育・防災の各面での高度利用により施設の有効活用を図るとともに、スタジアムを整備し、行政情報の提供など地域全体のコミュニティの向上を図っていく考えである。

本町としては、これらインフラ整備もほぼ整っており、この施設や機能を最大限高度利用した「ICTのまちづくり」を強力に推し進めていくべきと思われる。



# まちの考えを問う

## 質問項目一覧（質問順）

○鈴木満子議員

①公共施設のアスベスト対策について

②農政について

○青木照夫議員

①地域福祉権利擁護事業について

②成年後見人制度について

③アスベストの業種に関わる人の健康被害について

○佐野悦朗議員

①町道下野尻宝川線について

②町道下野尻端村線について

○長谷川徳喜議員

①町政改革について

○伊藤勝議員

①地域再生計画法に基づく認定と町の整備計画について

②町振興公社の債務超過と対応について

③沖縄平良市との友好都市締結と産業・人的交流について

○清野興一議員

①6期目の町政運営の基本方針と重点施策

②介護保険について

③公共施設の小額修繕工事について

（問）

### 下野尻端村線は

（答）

### 補助事業の導入が必要不可欠

佐野悦朗議員

問 下野尻端村線は集中豪雨による冠水被害が昨年、一昨年と連続で発生しているが、住民の不安をどう認識しているのか。町の基本的な考えは。

**地域整備課長**

本路線は、要改修延長800メートルの大型事業で、補助事業の導入が必要不可欠であり、地元との合意形成を図り、今後、早期実施に取り組んでいきます。

問 町道下野尻宝川線は現在不通となっているが、車トンネル内の災害時の迂回路とするなら、開通に向けた対策は。

**地域整備課長**

本路線は49号車トンネルを補完する線形ではありませんが、全線が急勾配であり、未舗装路線で、

幅員が狭く、大型車の通行、また、交差も困難であり、防護柵も設置され

ておらず、本路線を49号の迂回路とすることは困難です。



冠水した端村線



問 公共施設のアスベスト対策は

答 早急に工事にかかる予定

鈴木満子議員

問 学校・保育所・公民館・集会所等のアスベスト調査はしたのか。その結果は。

教育課長

昭和62年度に新郷小・奥川小及び公民館でアスベスト製品の使用が確認されたことから除去工事を実施しました。今年に入り再点検の指導があり、8月末から9月上旬にかけて(株)清水公夫研究所に依頼し、全部の教育施設の再調査をした結果、現時点で吹き付け箇所の囲い込み工事をするよう指導があり早急に工事にかかる予定です。

問 「中山間地域等直接支払制度」の改定内容の理解や短期間に集落内の合意をえるための指導援助をどのようにしたのか。



対応後の群岡小学校

町長 各集落に対して協定締結に向けた話し合いや準備など担当課に指示してきました。今後とも制度の周知に努め、要請があ

れば集落に向き協定締結への指導助言を行い、次年度以降締結及び8割単価から10割単価への取り組みの促進を図るよう指示しています。

問 成年後見人制度の保護政策は

答 地域包括支援センターを創設

青木照夫議員

問 認知症・知的・精神障害者の理由で地域福祉権利擁護事業を利用する中で、成年後見人制度との整合性を図った保護政策が必要と思われるが。

町長 認知症などにより判断能力の不十分な人については、本人に代わって意思決定の援助が必要であり、成年後見人制度が有効です。来年度から地域包括支援センターを創設します。

問 アスベストに関連

健康福祉課長 業界、団体等を通じ保健所の相談窓口が設けられ町民からの相談に対しては関係機関や、医療機関を紹介し、広報やケーブルテレビ等で啓発していきます。



老後の安心を（老人・障害者合同スポーツ大会）

**問 町長の見送りは止めるべき**  
**答 秘書業務の一環として必要**

長谷川 徳 喜 議員

あります。秘書業務の一環として出席する会議の時間や場所、内容、参集範囲、持参書類など最終的な確認作業を行う大切な時間であります。

問 山口町長は、西会津町長の他、町のすべての団体役員の理事長を兼務しているが、兼職をやめ町政に専念すべきと思うが町長の見解を伺う。

総務税政課長

山口町長は就任以来一貫した政治理念のもと町民との理解と協力、各種団体と連携を強化し、各種施策を推進してきたことが高い評価を受けています。これは町が先導的立場で各団体との連携を図ってきた結果で効率的で実効性のある町づくりをしていくうえで必要不可欠なものと考えます。

問 町長が在庁中は各課との決裁をはじめ、各種事業の打合せ、会議や行事の開催時間ギリギリまで日程をこなしており、当日の日程等について調整をする時間がない状況で

総務税政課長

問 町長の公務出張や帰宅時の町長室職員の見送りは止めるべきと思うが町長の見解を伺う。



庁舎玄関前

**問 施設利用者の負担増にどう対応**  
**答 制度改正の理解を求めます**

清野 興 一 議員

問 10月1日から介護施設利用者の食事代や部屋代が利用者負担となるが負担増は。経済的理由で利用断念という事態も想像されるが。

健康福祉課長

特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の利用者の食費や居住費が原則利用者負担になります。在宅サービス利用者との負担の不均衡の是正をするものです。施設利用者には家族等に説明しており、町民の皆さんには広報やケーブルテレビを通じて制度変更の趣旨や内容の周知を図ります。

問 公共施設の小額修繕工事に地元零細企業の参入はどうなっているか。

地域整備課長

施設を管理している関



介護施設内

係各課が業者を選定、発注しています。修繕工事の業者選定にあたっては

注、③事業の規模に応じた事業者の選定、といった基本的な基準を念頭に実施しています。

問 町振興公社の債務超過と対策は

答 専門家の指導を受けて

伊藤 勝議員

問 振興公社の経営は債務超過となっている。社長としての町長の経営責任と公社再建の具体策は。また温泉機器類のメンテナンスの財政措置や不採算部門の見直しと経営改善策を伺う。

経済振興課長

町では抜本的な改善を図るよう公社に指導しています。町の対応と具体策については、専門家による分析と改善策が提示され次第その対策に取り組みます。

また温泉機器類のメンテナンスの財政措置は全て町の予算で支出し支援していきます。

問 沖縄平良市は合併して宮古島市になった。友好都市締結後の産業と人的交流等を伺う。

町長

物産の交流については交流物産館「よりっせ」における沖縄物産コーナーなどを通じて行っており、今後も特産品や農産物等、物流の拡大を図っていく考えです。

人的交流については、食生活改善推進員の交流

を通して、平均寿命の延伸や脳疾患の減少など、町民の健康の保持・増進に大きく寄与しています。

議会関係の交流については、議会独自の問題ですが町全体として交流を進めるのが望ましいと考えています。



ロータスイン

小学校適正配置等に関する調査特別委員会中間報告

第2回特別委員会において、小委員会を設置し、実践的な調査を付託した。また小委員会は6月14日と7月19日に開催され、下記のとりの基礎資料について調査をした。

- ① 学級編成基準
- ② 西会津町管内小・中学

校児童・生徒数、学級数、教職員数  
③ 西会津町小学校児童数及び学級編成（推移）  
④ 西会津町保育所入所者現況  
今後も引き続き、調査・協議を必要に応じ、学校を調査します。



小中学校音楽祭



## 監査委員に

### 佐藤氏再任

任期満了となる町代表  
監査委員に、佐藤達雄氏  
(野沢本町)の再任に同  
意しました。なお任期は  
平成21年9月までの4年  
間です。



# さわやか ハッピー

野沢小学校みどりの少年団は、「郷土の自然に親しみ、これを愛し、自然愛護活動を実践する」事を目的に、昭和59年4月に結成され、毎年、6年生全員が団員となり、今年度で結成21年目を迎える団体です。

先輩方から引き継いでいる活動は大きく三つあります。

一つ目は、シイタケ栽培です。裏の杉林の一角をお借りし、栽培をしています。先輩が打ってくれたところから、毎年、大きくて立派なシイタケが元気に生えてきます。運動会や水泳などが始まる時、なかなか世話をすった後など、雨が降ると、雨が多くなると、水がしみておしまい、そこに見えなくなってしまう事が多くあります。

## 野沢小学校みどりの少年団

二つ目は、学校林の下草刈りです。野沢小学校には「学びの森」と名付けられた山があります。そのハシヨレ沢の部分の下草刈りを行っています。三つ目は、花いっぱい運動です。毎年、5月と11月に学校周辺の花壇などに花の苗を植え、一年中花に囲まれた学校を作

ろうと全校生で取り組んでいます。

現在は、団員数も減り、先輩方のような活動はできていませんが、西会津に一つだけの団体なので、できることから活動を継続していきたいと努力しています。

(横田)



花いっぱい運動

## 編集

### 後記

昨年は自立宣言をし、今自立の町づくりを進めております。

「議会だより」も新しく生まれ変わる必要があるのではないかとこの意見がありました。内容が委員の皆様と相談して少し変化をつけてみました。

特に表紙については「百歳に挑戦」にちなんで元気な「お年寄り」を紹介しています。

これからは前より字数を少なくし、親しみやすい広報になるように努めてまいります。

(鈴木 満子)

#### 編集委員

委員長 武藤 道廣

副委員長 鈴木 満子

委員 青木 照夫

〃 荒海 清隆

〃 佐藤 新一